

～事例から学ぶ、開発・処方・評価の勘所～

# 皮膚刺激性を抑えた

1名分料金で  
2人目無料

# 医療用貼付剤・粘着剤の最適設計【LIVE配信】 【アーカイブ配信】

◆日時：2026年7月8日(水) 13:00～16:30

【アーカイブ配信：7/9～7/21(何度でも受講可能)】

◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申し込みされた場合、1名につき**46,200円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**
- ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260708>

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

メディカルテープ研究所 代表 山本 敏幸 氏

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

- 習得できる知識：
- ・粘着剤はなぜくっつくのか
  - ・皮膚刺激をほぼ無くするゲル粘着剤について
  - ・新たなコンセプトの商品化について(アトピー性皮膚炎の皮膚バリアー損傷を改善するテープ(肌レーヌの開発物語))
  - ・化粧品分野の商品開発 肌荒れ改善テープなど
  - ・医療用粘着剤の基本知識
  - ・創傷被覆材(フィルムタイプ、ハイドロコロイドタイプ)など
  - ・医療機器・医薬品の開発に必要な薬事
  - ・医療用粘着剤の皮膚刺激の発生原因と対策
  - ・経皮吸収薬開発のポイント
  - ・今後の面白い開発テーマのヒント

講座主旨：成熟度が増した現在において、新たな製品開発の種はなかなか落ちていない。化学領域・粘着を主とする機能性ポリマーの応用領域、その中で如何に新たな開発テーマ・製品アイデアを見付け出し商品に結び付けるかを私の経験からお話したい。

初めに 自己紹介

### 1. 粘着剤と粘着機構

- 1.1 粘着剤とは
- 1.2 粘着剤の性質と粘着力の生じる因子
- 1.3 粘着剤と接着剤は違うのか
- 1.4 粘着剤の種類
- 1.5 粘着剤はなぜ接着するのか

### 2. 医療用粘着剤について

- 2.1 医療用粘着製品とは
- 2.2 工業用と医療用との違い
- 2.3 医療用テープの種類
- 2.4 医療用テープの機能
- 2.5 医療用粘着剤の種類
- 2.6 創傷被覆材や化粧品用テープ
- 2.7 テープと皮膚との関係
- 2.8 皮膚に粘着する要件
- 2.9 皮膚粘着力と品質上の粘着力とは同じなのか

### 3. テープによる皮膚刺激の原因

- 3.1 医療用テープの医療現場での問題点
- 3.2 皮膚障害の事例
- 3.3 皮膚刺激と材料の特性との関係
- 3.4 皮膚刺激の原因について
- 3.5 皮膚とはどのような組織か
- 3.6 皮膚の構造と機能
- 3.7 皮膚表面は変化し多彩

### 4. 開発アイデアから製品開発コンセプトへ

- 4.1 低皮膚刺激粘着剤の開発事例
- 4.2 従来の医療用テープの医療現場での問題点
- 4.3 角質剥離に注目した一低皮膚刺激粘着剤
- 4.4 開発コンセプトを実現するために
- 4.5 ゲル型粘着剤の開発 と開発過程の紹介
- 4.6 粘着剤物性・クリーブ・ゲル分率ー接着力と角質剥離
- 4.7 開発したゲル粘着剤の角質剥離と従来品との比較
- 4.8 透析患者と心臓手術後の臨床応用結果

### 5. 支持体の物性と皮膚刺激

- 6.1 テープの水蒸気透過性と電気伝導度
- 6.2 水蒸気透過性と皮膚刺激の関係は
- 6.3 水蒸気透過性と皮膚表面細菌数の変化

### 7. Ideaから製品コンセプトへーそして品質仕様への転換についてー

- 7.1 新製品を生み出すために
- 7.2 機能の付加 ～どんな機能があるかを考えてみましょう～
- 7.3 新製品開発の紹介 ～医療機器 肌レーヌ@～

### 8. 医療用粘着製品の安全性に関して

- 8.1 生物安全性に対してどのように考えればよいか

- 8.2 どのような安全性試験が求められるか
- 8.3 医療機器、化粧品、雑貨に必要な安全性試験

### 9. 化粧品又は化粧品雑貨分野への展開例

- アイデアから開発・製品化へ  
化粧品のできるテープ【ニキビマスキング】・【リフトアップ】  
医療機器【傷カバー】

### 10. 創傷被覆材の紹介

- 10.1 湿潤療法に関して
- 10.2 湿潤療法の事例

### 11. 経皮吸収薬の開発に関して

- 11.1 テープ技術のテープ薬への展開
- 11.2 経皮吸収薬とは
- 11.3 候補薬・開発品の紹介
- 11.4 テープ薬の特長
- 11.5 開発の一端紹介
- 11.6 喘息薬パッチ開発の紹介
- 11.7 テープ薬と皮膚刺激に関して

### 12. 薬事上の課題

- 12.1 薬事面で求められること
- 12.2 医薬品の薬事 製造販売許可申請
- 12.3 医療機器・化粧品の薬事
- 12.4 市販後調査
13. 今後の新たな課題への挑戦
14. 質疑と討議

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら([https://zoom.us/download#client\\_4meeting](https://zoom.us/download#client_4meeting))からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
  - 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
  - 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
- ・セミナー資料は開催前日までに送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『医療用貼付剤』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ LIVE アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

### ●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できないとなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>  
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送



株式会社R & D支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F  
TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>